

2022. 1 月のブルーベリー農園その 3

農園は東広島市豊栄町にある。安芸区の家から週末に車で通い続けながら栽培を続けている。通うとなると冬は雪が心配だが、今のと

ころ農園に行くのに支障は出ていないのでほっとしている。農作業はブルーベリーの剪定と剪定した枝を燃やすことを続けているが、今冬は、合間に枝を燃やした熾火でサツマイモを焼いてみることにしている。



1月15日（土）

農園に来るときには田んぼには雪が残っていたが、夕方帰るころにはすっかり解けていた。



1月16日（日）

午後から農作業を始める。最初に剪定したブルーベリーの枝を1時間かけて燃やす。燃やした後で熾火の中にサツマイモを入れてみる。



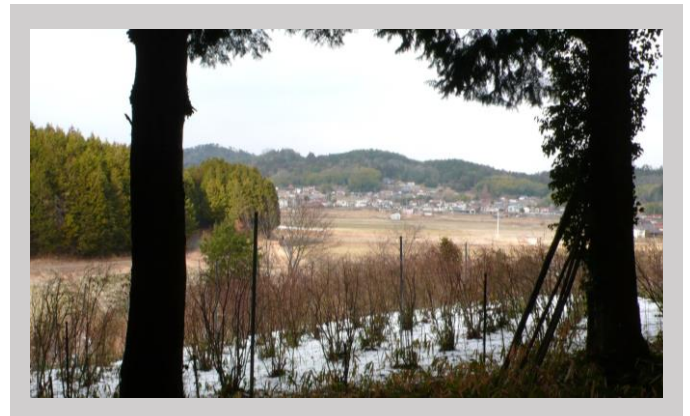
帰るころにサツマイモを熾火の中から取り出したがちょっと硬かった。アルミホイルでくるまなかったのがいけなかったのかも。家に帰り電子レンジで温めて食べる。何回か試みないといい具合に焼けそうにもない。

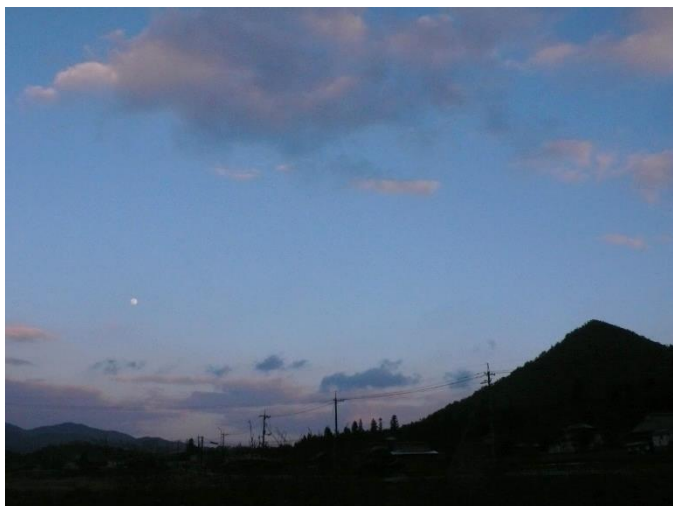


ブルーベリー畑の土が所どころでこんもりを盛り上がっている。



モグラが地中にトンネルを掘るとできるモグラ塚で冬によく見かける。

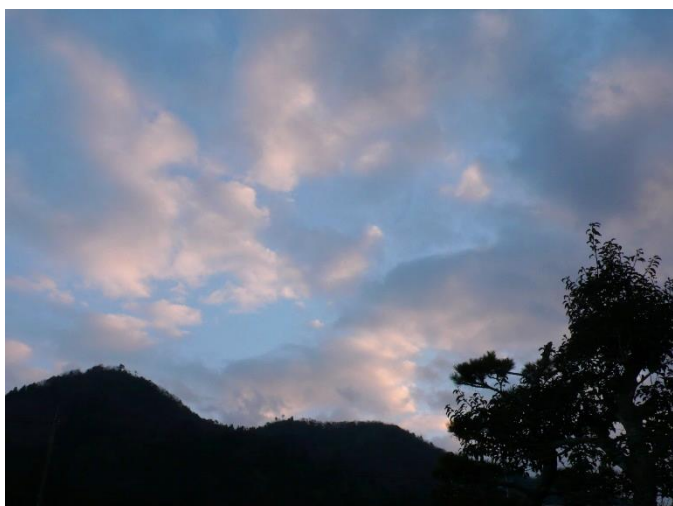




夕方 5 時過ぎの空。東の方向には淡く月が出ている。
(画面左の中ほど)



ブルーベリー畑の向こうの杉や桧の林の側の日陰に雪がしっかり残っているの見える。



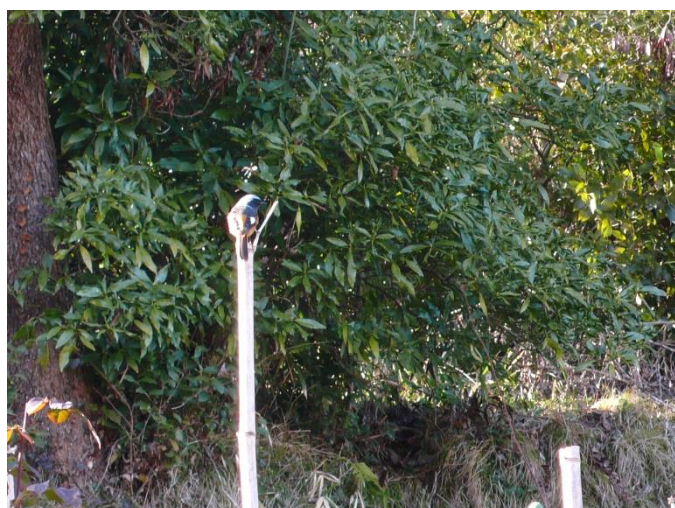
昔、古城があった茶臼山が見える南側の空には夕陽に染まる雲が広がる。



1 月の農作業はブルーベリーの剪定と剪定した枝を燃やすことで、あきずに続けた。



1 月 22 日 (土)
農園に着いたのが午後で、穏やかな天気だった。



この日も作業をしていると、ジョウビタキが近くに来てひっひっと鳴いていた。

2022 年 1 月 23 日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良